びわ湖大津歴史百科

第1回ワークショップ

2016年 9 月 3 日（土）

心の遺産、滋賀はそれをどう見せるか

講師：日高健一郎
（筑波大学名誉教授、大阪大学国際公共政策研究科招聘教授）

重要文化財 護法善神立像（三井寺蔵）
本像は秘仏です。
毎年５月中頃の土日に行われる「三井寺 千団子祭」でご開扉しています。

当日のスケジュール

- 受付開始：13：00
- 講演：13：30〜15：30　日高健一郎（筑波大学名誉教授、大阪大学国際公共政策研究科招聘教授）
- 見学：15：30　非公開文化財特別公開 三井寺唐院大師堂及び三重塔初層内部
- 終了予定：16：30
- 場所：講演 三井寺事務所（〒520-0036 大津市園城寺町 246）／見学 三井寺境内
- 参加費：無料
- 定員：50名

申込方法及び問合せ

ホームページの申込フォームにてお申込みください（先着順）
ホームページ：www.rekishihyakka.jp
メール：info@rekishihyakka.jp
ＴＥＬ：077-522-2238 / ＦＡＸ：077-522-2221

主催：大津市浜大津・石山地区文化遺産活用実行委員会
後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会
平成 28 年度文化庁文化芸術振興費補助金
（文化遺産を活かした地域活性化事業）

文化庁

講演概要：「心の遺産、滋賀はそれをどう見せるか」

湖南に三井寺、延暦寺、石山寺の伽藍を有し、湖北・湖東に素朴な信仰の里が広がる滋賀県は、「神と仏の美」を誇る傑出した文化と歴史の地である。精神の営みを語る、豊かにして普遍的なその「心の遺産」を、県域のみならず日本の貴重な財産として次世代に継承するためには、まず県内外、国内外の多くの人々が滋賀を訪れ、それを見て親しむことが欠かせない。文化遺産の公開と国際交流の動向を踏まえて、世界の類例とその「見せ方」を紹介しつつ、文化をツールとする滋賀県の活性化のために、その「心の遺産」をどのように「見せる」か、を新たな提案を含め、世界に広がる視野から文化遺産を「見せる」ための工夫と方法を考察してみたい。

講師プロフィール

日高健一郎（ひだか けんいちろう）
筑波大学名誉教授、大阪大学国際公共政策研究科招聘教授／地中海建築史、世界遺産学／工学博士。
1948 年千葉県生まれ。建築史学を基盤として、トルコ、セルビア、ルーマニア、ヨルダン、チュニジア、リビアなど地中海域の建築遺産、考古遺跡の調査を実施、特に 1990 年代からハギア・ソフィア大聖堂（イスタンブール）の総合建築調査を 25 年以上にわたって行っている。筑波大学大学院人間総合科学研究科にアジア初となる「世界遺産専攻」を開設、専攻長として教育・研究指導にあたった。イタリア、ギリシャ、ルーマニア、ヨルダン、シリア、エジプト、リビア、チュニジアなどで学術講演や教育・研修指導を行う。アジアでは、カンボジア王国のアンコール遺跡ユネスコ国際専門委員を務め、国内では、水戸市の世界遺産登録推進委員会の座長として「近世日本の教育遺産」の日本遺産登録に貢献した。

会場マップ

会場へのアクセス

○ 京阪 三井寺駅（石坂線）より徒歩 約6分
○ JR 大津京駅（湖西線）より徒歩 約20分
○ JR 大津駅（琵琶湖線）より大津駅京阪バス三井寺停下車すぐ
○三井寺駐車場より徒歩約 2 分

次回予告

びわ湖大津歴史百科 第2回ワークショップ
「石山貝塚考―縄文・ヒトとびわ湖と生活と―」
講師：鈴木康二（公財）滋賀県文化財保護協会 副主幹
日時：2016年10月8日（土）
詳しくはホームページをご覧ください www.rekishihyakka.jp

本プロジェクトについて

本プロジェクト「びわ湖大津歴史百科（正式名称：大津市浜大津・石山地区の文化遺産を活かした地域活性化事業）」は、大津市浜大津・石山地区文化遺産活用実行委員会（会長：木村至宏）が、日本を代表する寺院である石山寺と三井寺が連携し、点ではなく帯として、大津市石山～浜大津地区に点在する豊富な文化遺産の情報発信を行ない、保護と活用について包括的な啓発事業を実施することで地域の活性化を目指すものです。各種イベント（ワークショップ4回、フォーラム）、インターネットやアプリを用いた情報発信等を行います。

本プロジェクトは、平成 28 年度文化庁文化芸術振興費補助事業（文化遺産を活かした地域活性化事業）として実施しています。

主催：大津市浜大津・石山地区文化遺産活用実行委員会